

# せきじりの

富津市立環小学校

学校便り No.2

令和元年5月7日

mail tamaki@futtu.ed.jp

URL <http://www.futtu.jp/syo-tamaki/>

春を送り、夏が近づく……。新緑はひときわみずみずしく目に映り、巡る季節に合わせるように平成から令和へと、時代も新たな一步を踏み出しました。10連休にもおよぶゴールデンウィークは改元をめぐる話題で彩られていました。

4月20日(土)は、授業参観・学級懇談会・PTA総会とご多用の中、お越しいただきましてありがとうございました。我々職員一同、この日の保護者の皆様との新鮮な出会いと新たな決意のもと、環の子どもたちの健やかな成長のために全力を尽くしてまいります。今後とも本校教育に対する、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 『主体的・対話的で深い学び』

来年度(2020年度)、小学校の学習指導要領が改訂になります。その翌年、2021年度には中学校の学習指導要領が改訂となり、2022年度には高等学校が改訂されていきます。学習指導要領とは、全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育が受けられるようにするために、文部科学省が教育の基準を定めたものであり、各学校では、学習指導要領をもとに教育課程(カリキュラム)を編成していきます。その移行期間(準備期間)が昨年度からスタートしています。

現代は社会の変化が激しく、「予想が難しい時代」と言われています。また、AI(人工知能)の進化により、20年後には、「今ある職業の半分はなくなる」とも言われています。これらの未踏の時代に、柔軟に対応できる「生き抜く力」を育むために、新しい学習指導要領では、『**主体的・対話的で深い学び**』が大きなテーマとして掲げられています。

やや難しい話にはなりますが……。『何を学ぶか』だけでなく、『どのように学ぶのか』も重視して授業を改善していくわけです。『**主体的**』とは、受け身ではなく、積極的に授業に参加し、毎時間見通しを持って、粘り強く取り組むこと。『**対話的**』とは、子ども同士の話し合い活動や意見交換、協働、体験活動、先生方や地域の人との対話、先哲の考え方などを手がかりに、自分の考え方を広げること。『**深い学び**』とは、各教科に応じた「見方・考え方」を働かせて、知識をより深く理解したり、様々な情報を精査して、考えたりすることです。

そして、次の3つの柱の育成が求められています。

- ①実際の社会や生活で生きて働く「**知識**」及び「**技能**」の習得
- ②未知の状況にも対応できる「**思考力**」「**判断力**」「**表現力**」等の育成
- ③学んだことを人生や社会に生かそうとする「**学びに向かう力、人間性**」等の育成

また、『**外国語活動(英語)**』が重視されます。5・6年生の外国語活動については、来年度から教科化され、他の教科と同様に「外国語(英語)」として評価をしていきます。授業時間数は、昨年度同様年間50時間行っていきます。来年度からは、年間70時間(週2時間)行っていきます。3・4年生については、昨年度同様「外国語活動」を取り入れ、授業時間は年間15時間行っていきます。来年度からは、年間35時間(週1時間)行っていきます。

『**道徳**』の授業については、昨年度より教科化され、教科書を使用して授業を行っています。「考え、議論する道徳」というキーワードのもと、他の人の考えを聞いたり、相手の立場になって考えたりすることにより、考え方の幅を広げ、より深く考えていきます。

『**プログラミング教育**』は、『**情報活用能力**』や『**論理的思考力**』を身につけさせることが狙いです。来年度から必修化されますが、どの教科で、どのように教えるか明確な決まりはありません。来年度、算数や理科を中心に、教科書の中でも取り上げられると思いますが、パソコンを操作する活動などを通し、筋道を立てて物事を考えさせる授業を取り入れていきます。

さて、環小学校の今年度の「学校教育目標」ですが、次のように掲げ、この1年間の取組をすすめてまいります。

### <学校教育目標>

# 自ら学び 心豊かで たくましい 環の子 ～ 夢 笑顔 勇気 ～

### <めざす児童像>

峰上地域の自然や文化・伝統を生かし、家庭や地域社会との連携を深めながら、「よく学び・やさしく・がんばる」児童の育成をめざす。

<b>よく学ぶ子</b> →	<ul style="list-style-type: none"><li>・めあてを持って、進んで取り組み、学び合える。 (主体的・対話的で深い学び)</li><li>・基礎基本や<b>思考・判断・表現力</b>を身につけ、意欲的に勉強することができる。</li><li>・<b>地域を愛し、地域について語る</b>ことができる。</li></ul>
<b>やさしい子</b> →	<ul style="list-style-type: none"><li>・いつでもどこでも進んで明るい<b>あいさつ・返事</b>ができる。</li><li>・<b>思いやりの心</b>をもって、誰に対しても親切にできる。</li><li>・人と関わる力を持ち、<b>感謝の気持ち</b>が表せる。</li></ul>
<b>がんばる子</b> →	<ul style="list-style-type: none"><li>・<b>友だちに尽くす</b>ことができる。(自己有用感の向上)</li><li>・めあてを持って、最後までやりぬくことができる。</li><li>・進んで運動に親しみ、身体をきたえることができる。</li></ul>

### <めざす学校像> ～ わくわく ドキドキ 笑顔いっぱいの学校 ～

- 夢と感動のある学校
  - ・一人一人の児童の**活躍の場が保障され、一人一人が輝ける**学校
  - ・美しく整った環境で児童が**安心・安全**に生活できる学校
- 活気と躍動感のある学校
  - ・児童と児童、児童と教職員が信頼でつながり、生き生きとした学校
  - ・一人一人の教職員が使命感に燃え、子どもの成長を支える学校
- 保護者・地域から信頼される学校
  - ・子どもや教職員の姿を通して地域の学校として、愛着や期待を担うことのできる学校

4月20日(土)のPTA総会の際にも、お話をさせていただきました、『子育て四訓』を紹介いたします。子育ての参考になれば幸いです。

#### 子育て四訓

- 一. **乳児はしっかり肌を離すな!**  
しっかり抱かれていることで、赤ちゃんは「守られている」「かわいがられている」と無意識のうちに感じ、信頼し、安心する。
- 一. **幼児は肌を離せ!手を離すな!**  
親がそばにいて、安心感を与えることが大切である。周囲のものに関心があり、自立させる第1段階。親子の絆を大切に、温かい家庭をつくることである。
- 一. **少年は手を離せ!目を離すな!**  
仲間との付き合いによって社会性が育つ時なので、活動範囲を広げてやる必要がある。ただし、危険性もあるので、目を離してはいけない。この時期には、反抗期や問題行動があり、苦しい時期だが、成長の過程でもある。親として逃げず、共に成長することを心がける。「こちらを向いてほしい」というメッセージを送ることもある。
- 一. **青年は目を離せ!心を離すな!**  
自分の進路を歩んでいくときであるが、気持ちの上では、心を離してはいけない。子育ての責任は親にあるという基本は忘れてはいけない。